

10月21日（日）、TIFA カフェサパナの「元気がでる晩ごはん」に、ベトナムの学習者2人と、ミャンマーの学習者1人、ボランティア4人、TIFA メンバー1人で参加しました。

メインの秋刀魚のしぐれ煮は骨まで柔らかく、学習者も完食。他に、野菜の重ね煮のさつま汁、若布のかき揚げなど、いずれも身近な素材に様々に手が加えられ、とても美味しくお腹いっぱいになりました。

ベトナムでも秋刀魚がよく食べられているそうです。ミャンマーでは、川魚が多く海の魚はあまり食べないようですが、秋刀魚は日本で最近食べるようになり好きになったとのこと。

又、ベトナムの学習者の1人は、日本に来て家庭菜園を始め、大根やサツマイモなど色々な野菜を収穫していると話してくれました。

ミャンマーの学習者は、配布された三田の彫刻公園に興味を持ち、行ってみたいとのこと。

皆日本での生活に慣れてきて、更に様々な体験を楽しみたいと思っているようです。

12月16日のくらし館での料理教室のメニューも決まり、日本の家庭料理にももっともっと馴染んでもらえると嬉しく感じます。

